

令和5年度 第1回 学校運営協議会(定時制部会) 議事録

| | |
|------|-------------|
| 校名 | 大阪府立大手前高等学校 |
| 准校長名 | 渋川 雅宏 |

| | |
|---------|---|
| 開催日時 | 令和5年6月29日(木) 15:00~16:00 |
| 開催場所 | 大阪府立大手前高等学校 学習室 |
| 出席者(委員) | 平野 智之、平田 和也、上田 智子、堀 剛士、寺村 美岐 |
| 出席者(学校) | 渋川 雅宏、石野 靖、矢野 直子、川端 俊範、神原 優希、坂本 達也、荒木 聖加、砂田 純平、加藤 千穂美 |
| 傍聴者 | なし |
| 協議資料 | 令和5年度学校経営計画及び学校評価、 令和6年度使用教科書選定一覧表及び使用教科書選定理由一覧表 |
| 備考 | なし |

議題等(次第順)

- 1 今年度の学校の状況
- 2 令和5年度学校経営計画及び学校評価について
- 3 令和6年度使用教科書の選定について
- 4 その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 令和5年度学校経営計画及び学校評価について
「承認」
- 2 令和6年度使用教科書の選定について
「承認」
- 3 その他(委員の意見・質問等)
 - (1) 本校の中学校(夜間学級)でも70%が外国籍の生徒で、教科指導の前に日本語ができていない。取り組む中でばらつきもでてくる。本校では日本語指導経験者の日本語指導のための講師の加配があるが、大手前高(定)も多国籍生徒が多く課題もあるとのこと。大手前高校(定)では日本語指導について、府教育庁から何か手当のようなものがあるのでしょうか。
→本校では、母語がさまざま生徒がいる中で、ネパール籍の生徒が多い。先日、市内のある中学校(夜間学級)の公開授業に参加した際、約半数の生徒がネパール籍との

ことであった。ご参考までに。

本校も同様に加配を受けている。国語科の授業を2展開にして、国語の教員免許を持っている非常講師が日本語指導を行っている。これ以外に、総合的な探究の時間で日本語指導の講座を設けている。日本語指導に教務・関心をもつ教員が担当し、生徒の日本語の学習や資格取得の支援を行っている。

- (2) 1人1台端末はどのようなものか、また、持ち帰って宿題等で利用させているのか。ご高齢の方も多いと聞く。手で書いたほうが早いということなど指導上での課題はあるか（准校長：過去に効果があがった例などがあればあわせて教員から紹介してほしい）。

→1人1台端末は、タブレット端末（Chromebook）である。持ち帰らせることはせずに学校に常設している。調べ学習やホームルームの中でも使用している。持ち帰りを希望する生徒はいないが、申請があれば、借用書に記入させて対応することとしている。

効果があがった例ではないが、調べ学習の例としては、Google のサービスは、LAN 教室のデスクトップ端末にも入れて指導している。ねらいは、高齢者も含め繰り返し使っていくことで共同学習、いわゆる、1つのファイルを共同で編集ができるようにすることであるが、授業ではまだまだ使用回数が少なく、そこに行きつくまでに時間が必要であると考えている。今後は、生徒の利用回数を増やし経験をさせ、慣れさせることで学力（技能）の向上を図っていききたい。また、今年度は、アンケートなどでタブレット端末の活用を考えている。

- (3) 感想としては、本校に入学し、通えるようになったことはうれしいが、近年、生徒が減ってきた話は残念に思う。中学校時代に不登校だった生徒も高校生になり、年数を重ねるごとに慣れも出てきて、遅刻・欠席が増加したり、人間関係も深まれば、人間関係のトラブルも生じてくるのではないかと思う。テンションを保ったまま卒業できるかが課題である。

（他の委員より）人間関係で悩んできた生徒が入学し、回復しながらも、距離感や集団の中での自己開示などが大切である。この辺も含めていかがでしょうか。

→プライバシーに関することもあるので、この後、個別に懇談等にて対応策等を一緒に考えていきたい。

- (4) 昨年の授業公開で授業見学をさせていただいたが、2022年度から高等学校では、新学習指導要領が更新され、観点別の評価が導入されて大変であると思う。先ほどのお話では、様々な年齢層や事情により欠席が少しあるなど、これまでの一律の数字、欠席だけの評価ではなく、思考・判断、主体的に学ぶという部分の評価を3分の1ずつ割り振っていると思う。授業改革と兼ねて、様々な生徒の意欲や発表とかを測っていくような、昨年そのような記事をたくさんみたので、今年度も期待していききたいと思う。ついては、評価面で、「今年度はこんなことを考えている」など観点別評価で何か

あれば教えて欲しい。

→観点別評価の「意欲」が3分の1となり、これまでの3割よりも多くなったことで、より「意欲」を評価できるようになったと考えている。その反面、「考査」の割合が減ってしまった。この辺を課題だと考えている。

次回の会議日程

| | |
|----|---------------------------------|
| 日時 | 令和5年11月16日(木) 17:00~19:00(予定) |
| 会場 | 大阪府立大手前高等学校 1階大会議室 及び 3・4階HR教室等 |